

# 2021年10月17日 主日礼拝

司 会  
祈 禱  
奏 楽

賛 美 聖歌498番「うたいつあゆまん」  
(いつも喜び) (手を高く差しのべ)

3つの愛・「365日の信仰宣言」

聖 書 ①② マタイによる福音書21章28～32節 (P34)  
③ コリント人への第一の手紙13章1～7節 (P271)

音 楽 アフレル(V)

メッセージ ①② 「天の父の望みとは」 佐々木智行副牧師  
③ 「YOUは何しに地球村へ」大川従道主任牧師

賛 美 「いかにけがれたる」(聖歌701番) 献金  
頌 栄 「わが魂いざたたえよ」(聖歌480番) アーメン  
祝 禱

「このように、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛と、この三つである。このうちで最も大いなるものは、愛である。」  
(Iコリント十三の三)

## 【大和ニュース】

☆「喰われてもよし つぶされてもよし 干されてもよし 一番甘くなって枯れよう」

(星野富弘作・ぶどう)。近々星野富弘作、花の詩画展が開かれます。

・ 本日、Zoomモーセ会(14時)、Zoom東京青年礼拝(17時)、J.plus(青年・学生：森チャペルに集合！中高生礼拝：YouTube配信14時半)。楽しいです！

\* 本日、宮田兄の独奏と証詞の会。祈りをもって応援しましょう。(茨城・小美玉羽鳥教会)

・ 今週も祈禱会を大切に！①水曜夜7時②木曜朝10時半 説教は久保田副牧師。

・ 「英語礼拝」土曜14時。森チャペル。予約不要。日本語通訳あり。マスクは必要。

・ 土曜、会堂掃除(12時)、聖歌隊練習(13:30 Zoom)。

☆ご結婚おめでとうございます！首藤様と蔵座様。God bless you！

## 石の枕

必要があって、家内の母親の召天記念の証詞集を読み、大きな恵みを受けた。以下は、召天直後に書いた「石の枕」の文章の一部である。

ある青年が、狩猟をしているうちに、だんだんと山奥に入り込み、やがて谷川に出た。そこには粗末な丸太小屋があった。その小屋の前で、黒人の婦人が洗濯をしていた。彼女は「あまつ御国は、いと楽し」を無心に歌っていた。青年は、その美しく、心のこもった歌にしばらくじっと聞きほれていたが、やがて歌っている婦人が盲目であることに気づいた。

彼はその婦人に近寄ってあいさつをすると、こう尋ねた。「おばさんは、ほんとうに目が見えないのですか」婦人は微笑みながら、こう答えた。

「私はごらんのとおりですよ。川も木も山も何も見えません。でも幸いなことに、天国は大変よく見えるのですよ」

その言葉に胸を刺された青年は、やがて救われ、洗礼を受けたという。

私の義母「関本ぶん姉」が、主のもとに召された。享年92。天国のよく見える女性であった。

私がサンフランシスコの牧師になる前、3年間。私の23才から26才。その深川教会の牧師であった。私だけではない。多くの牧師や神学生が、この義母から経済的援助を受けた。ある日、私にこう言った。

「あなたがこの教会の牧師に就任してから大切なことを2つ学んだ。それは絶対に日曜礼拝を守ること、什一献金をすること。それらを怠ることは、十戒の光に照らせば殺人やドロ棒や姦淫の罪を犯すことと同じだ」

この言葉は、20代の若い牧師にとって、大きな励ましであった。

義母のモットーは、「与えることは、受けることより幸いなり」のイエス様のお言葉の実践でした。あるときは、沢山の献金をだまって私の手に握らせ、「本当に困っている伝道者を支えて下さい。」と言われ感激しました。私も貧しかったのですが、私以外の伝道者との御指名でしたので、その通りにしました。

\*証詞集を読みなおして、「マタイ10の42」を心にとどめ、天国のすばらしさを味わいました。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース: Iテサロニケ5章~Iテモテ3章 Bコース: Iザヤ62章~エレミヤ10章